

「NFJコアビット」の開発

-トンネル現場における品質管理業務の生産性向上-

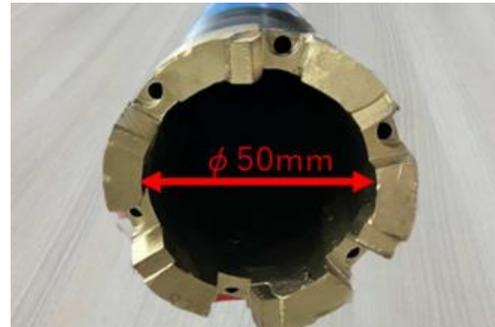
フジモリ産業㈱（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：久下 典宏）は、西松建設株式会社（社長：高瀬 伸利）と共同で、ドリルジャンボロッドに取付けることで吹付コンクリートの供試体を短時間で採取できる「NFJコアビット」を新たに開発しました。

山岳トンネル工事の施工に用いられる吹付コンクリートは、専用機械（以下、コアドリル）で採取した供試体を用いて強度を測定することで、品質の確認を行います。供試体を採取するためには、専用型枠の組み立てや、コアドリル設置といった複数の工程が必要であり、効率的に供試体を採取するためのツールの開発が求められておりました。

「NFJコアビット」は、山岳トンネル工事で使用されているドリルジャンボロッドに取り付け可能なビットであり、削岩機の回転エネルギー及び削孔水圧を活用して、トンネル壁面に吹付けられたコンクリートから供試体を採取することができます。本ツールはビット取り付け作業のみで供試体の採取が可能のため、作業時間を大幅に削減することができます。

以下に開発品の特長を示します。

- ① 従来手法と比較して、60分程度サイクルタイムを短縮できます。
- ② コアドリルを手配する必要がなくなる為、コストの削減が可能です。
- ③ 任意の吹付けられたコンクリートから直接供試体を採取することで、品質を直接確認できます。（例：吹付厚出来形断面でのコア抜きで吹付厚確認と圧縮強度確認が同一箇所でも可能です）
- ④ 各種メーカーのドリルジャンボロッドに取り付け可能な為、汎用性が高いです。



NFJ コアビットの形状



供試体の採取状況



採取した供試体比較



導入効果

お問合せ先：

フジモリ産業(株) 建材事業部土木営業統括部

小椋孝太、吉田真弥

[TEL:06-6228-3864](tel:06-6228-3864)